

# 県外派遣審判員報告書

作成日 31年 2月 6日

大会名	第1回全日本社会人バスケットボール選手権大会 九州ブロック大会	会場	宮崎県都市 早水公園体育文化センター
期間	平成31年2月2日～3日	報告者	鳥羽瀬 暁天

## スケジュール

期日	内容	場所
2月2日	8:30 開講式・講義	同会場、審判控室
	9:00 実技研修・MTG	同会場別室MTGルーム
2月3日	13:30 男子決勝ハーフタイムに閉講式	同会場、審判控室

## レクチャー・審判会議の内容

第1回全日本社会人バスケットボール選手権大会 九州ブロック予選

講師:日本社会人連盟指導担当:堀内 純 氏

講師:日本社会人連盟指導担当:北沢 岳夫 氏

3POベーシックについて。トップリーグでのPGCの取り組みについて。CCメンタリティーに関してディスカッション。

◆Basicとは:どのカテゴリー、どのライセンスでも取り組む内容は変わらない。

◆TOPリーグレフェリーの流れ:

①割り当て、クルーでの情報共有

②PGC(プレゲームカンファレンス)

③Game

④報告、評価(反省会)

※PGCに費やす時間:平均2.0時間(1~3時間)

◆PGCでの主な確認事項

・対戦カード、チームの状況(スカウティング)

・メカニクス(Basic)

・テクニカルコントロール

・コンタクトと基準(ガイドライン)

・ヴァイオリション

※Basicが大事(共有事項)、実際に講義中、核オフィシャルのプライマリーの絵を書く課題がありました。

◆CCメンタリティーとは(クルーチーフメンタリティー)

・決断力、カリスマ性、オープンマインド⇒これらをゲームの様々な場面で発揮することが必要

・トラブル時にチャレンジできる、正しく処置できるレフェリー

・トラブルを予防できるレフェリー

男子1回戦	割り当て	HAWKS(福岡県2位)	クルー	C・C	野田 宏樹(熊本B)
		O.S.C(大分県1位)		U2	小川(佐賀B)

○ゲーム前(PGC)

各々のチームの特徴の確認(CCの野田氏が社会人チームに精通していることもあり両チームのキープレイヤーやどのようなことをしてくるかの情報を共有)。

また、今回、この1回戦で面白いカードであることともにB級3人に割り当てられた意図を認識しながら対応しようとCCから提案があった。特にプレゼンテーションを意識するよう話があった。

メカニクス、プレイコーリングガイドラインに関してはおさらいとして簡単な読み合わせを実施。

○ゲームの実際

ゲーム前にアンダーガバメントの色が違うことが確認できた為、CCに報告。CCから選手に伝達してもらい、ゲーム前にユニフォームの規定に関して選手に注意することができた。

ゲームは前半、接戦で終了。後半、徐々にHAWKSが点差を伸ばす結果となりましたが、O.C.Sも最後まであきらめず、緊張感が最後まであった試合でした。

自分自身としては積極的に判定しました。しかしながら、プライマリー・セカンダリーを考慮した笛のタイミングができていなかったことが反省として残りました。

OMTG(クルーMTG)主任 野田 宏樹(B級)

社会人チームに対するプレゼンテーションの仕方やヴァーバルサポートの使い方に関して工夫した方がよいとアドバイス頂きました。具体的には、高圧的に勢い強くよりもPOCをしっかり伝え落ち着いた風貌で対応することが大事という内容でした。

男子2回戦	割り当て	福太郎めんべい(福岡県1位)	クルー	CC	山口 勝真(長崎A)
		Spotty Crows(福岡県2位)		U1	平田(宮崎B)
<p>○ゲーム前(PGC) メカニクスの確認。特にローテーションをよりよくする為、ミラーザボール及びセットダウンポジションの活用を確認。また、社会人の試合ということもあり、ファールに関してはオンタイムで吹くのではなく、RSBQを確認して絵ができてからコールするよう話がありました。</p> <p>○ゲームの実際 ゲーム自体は前半から福太郎がリードし終始、ゲームを支配する流れでした。ただし、試合の中でトリプルホイッスルがあった。自分のプライマリーから始まった現象だったが気になったのでこの後のクルーミーティングでも議題に上がった。また、セカンダリーとしての意識を強く持ち、オヴィアスな現象に対して判定をするという意識が少し薄かったと反省す場面がいくつかあった。</p> <p>OMTG(クルー-MTG)主任 山口 勝真(長崎A)</p> <p>ゲーム中起こったトリプルホイッスルに関してディスカッション。 始まりは自分のプライマリーから始まったがスタート、ディペロップ、フィニッシュで考えた際、自分のポジション(リード)からではフィニッシュを確認できないことから1stはセンター、2ndはトレイル、リードに関してはノーチャンスということで、各々、確認納得し議論を終えた。</p>					
全体を通しての感想					
<p>前回の社会人九州大会では女子の試合のみでしたが、今回は男子のゲームを2試合も割り当てて頂き、非常に良い体験となりました。 その中で目の前の減少を捉えることに意識しすぎ、クロックやTOの管理がおろそかになっていたことを反省しました。 また、意識しすぎるあまり軽い笛が鳴ったり、相手のプライマリーをオンタイムで吹いたりと余裕の無さが露呈された部分がありました。 今回の貴重な体験を活かし、今後の課題として取り組んで参ります。 具体的にはどのポジションでもショットクロックとタイマーで時間を管理すること、自分がビジーでないときは全体(T.O、ベンチ含め)を把握しセカンダリーの準備、スタート・ディペロップ・フィニッシュの意識を常に持ちながらプレーにフォーカスすることを実践して参ります。</p>					